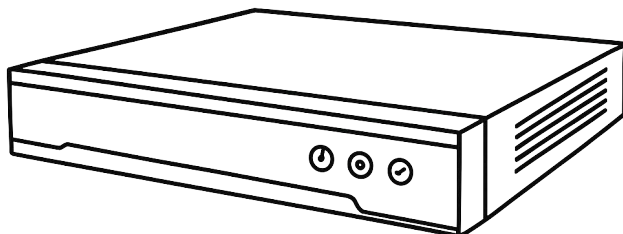


かんたんガイド ～導入編～



目次

1.はじめに	1
2.概要	2
3.ハードディスクの取付	3
4.使い方	
(1) 初回起動とパスワード設定	4
(2) セットアップウィザード	6
(3) カメラの接続方法	11
(4) メイン機能画面の説明	15
(5) ライブビューと再生画面	16
(6) 録画スケジュール、録画開始終了のタイミング設定	18
5.よくある質問	
(1) 映像のバックアップの方法	19
(2) レコーダー初期化の方法	20
(3) ハードディスク初期化の方法	21
(4) モニター出力 (HDMI/VGA) 解像度の変更	21
(5) ライブビュー画面の設定	22
(6) 録画機の日時設定の方法	22
(7) 画面に映らない時の対処方法	23
(8) 異常検知した際のアラートの表示を消したい	23
(9) 動体検知の設定方法	24
(10) イベント検知時に eメール通知の設定方法	25
(11) eメールを使用したパスワードリセット	27
(12) マイク音が記録されない	29
(13) ライブビューでマイク音声 that 聞えない	31

1.はじめに

この度はお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前にこのかんたんガイドをお読みの上、正しくお使いください。

いくつかパスワードの設定がございますので
混乱を防ぐため下記のパスワードメモ欄をご利用ください。

パスワードA:

レコーダーログイン用パスワード

パスワードB:

IPカメラ本体登録時用パスワード

*レコーダーログイン用のパスワードと異なる場合、記載ください

パスワードC:

スマホ版 Guarding Vision アカウントのパスワード

パスワードD:

PC版 Guarding Vision アプリログイン用パスワード

*PC版インストール時に、記載ください

検証コード:

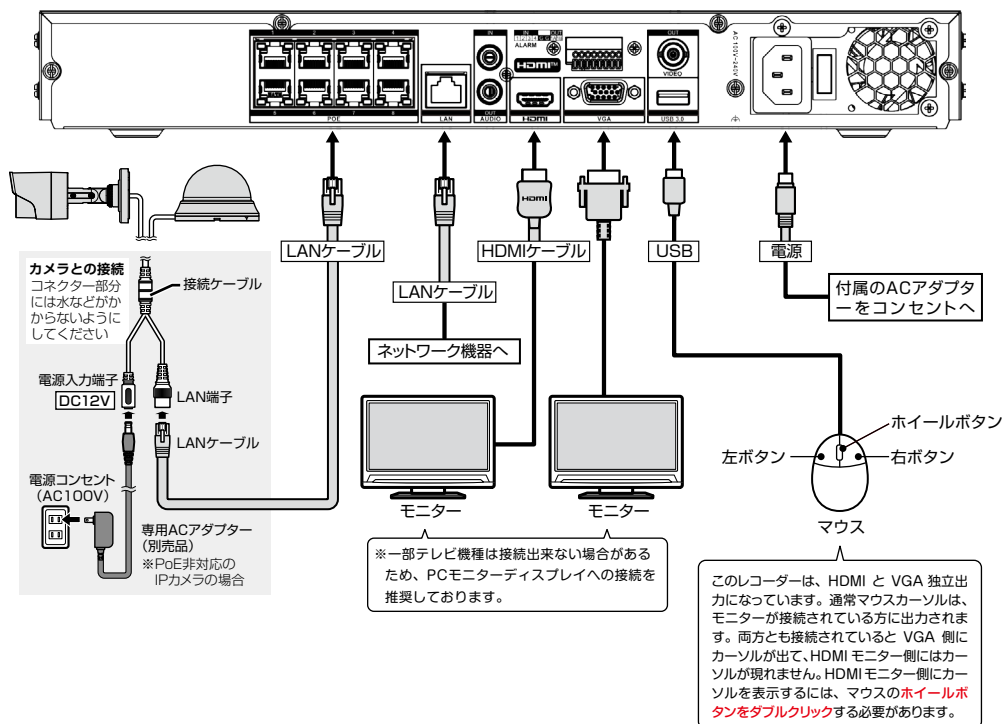
Guarding Vision で「ストリームキー」入力の際に必要

メールアドレス:

パスワードリセットの為に設定したEメールアドレス

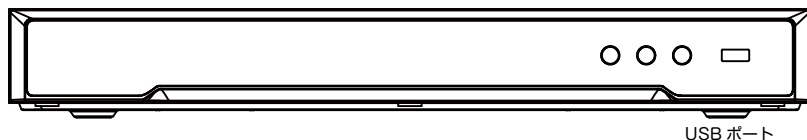
2. 概要

接続方法（一例）



フロントパネル

1. POWER — 電源が入ると緑に点灯
2. STATUS — HDDの書き込みや読み込み時に赤に点滅
3. Tx / Rx — ネットワークが正常に接続されている場合は緑に点滅

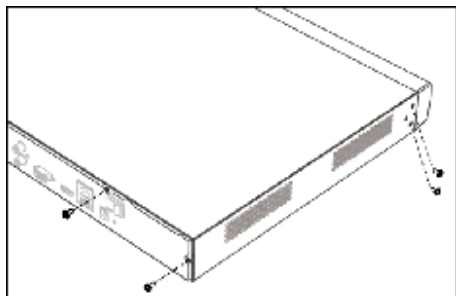


3. ハードディスクの取付

ハードディスクを内蔵していないレコーダーで、ハードディスクを取り付ける場合は以下を参照ください。
HDDは、監視用途向けのモデルを推奨します。HDDのインターフェース、容量を確認の上、選定ください。

1. 本体カバーの取り外し

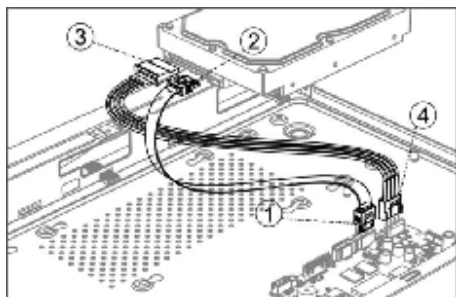
- LANケーブル、電源ケーブルは外してください。
- 本体背面、側面のネジを緩めて、レコーダーからカバーを取り外します。



2. HDDの接続

データケーブルと電源ケーブルを接続します。

- データケーブルの一方の端 ① をデバイスのマザーボードに接続します。
- データケーブルのもう一方の端 ② をHDDに接続します。
- 電源ケーブルの一方の端 ③ をHDDに接続します。
- 電源ケーブルの一方の端 ④ をデバイスのマザーボードに接続します。

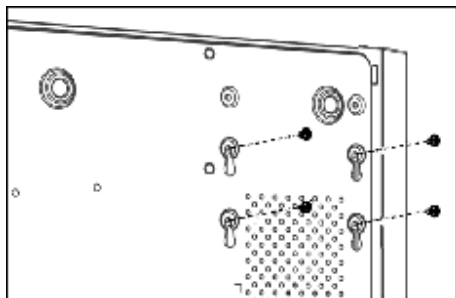


3. HDDの固定

- HDDのネジ穴を確認し、底面のネジ穴とあわせ、HDDをネジで固定します。

4. 本体カバーを戻す

- 取り外したカバーを取り付け、ネジを締めます。



4. 使い方

1. 初回起動とパスワード設定

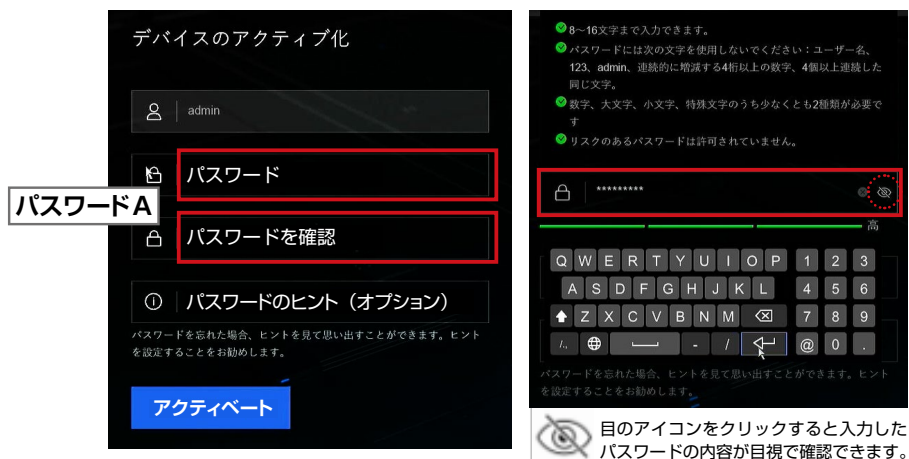
1. 初回起動時は、「地域と言語を選択」の画面が表示されるので、地域から「日本」を選択し、「保存」をクリックします。



2. タイムゾーンを「(UTC+9:00) 大阪、札幌、東京」を選択し、システム時間を設定します。最後に「保存」をクリックします。



3. デバイス（レコーダー）のアクティブ化（利用可能な状態にすること）で、パスワードを設定します。ボックスをクリックするとバーチャルキーボードが起動します。入力はすべてこのバーチャルキーボードで行います。パスワードの設定の条件が表示されますので、従って設定してください。

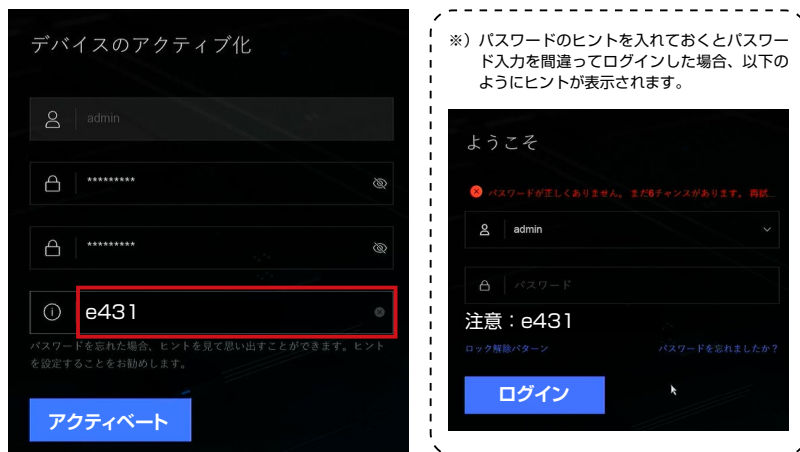


パスワードを忘れないようメモしておきましょう。かんたんガイド導入編の最初のページにもパスワードをまとめてメモする欄があるのでご利用ください。

パスワードA：

レコーダーログイン用パスワード

4. パスワードのヒントを設定します。（任意） 入力したら、「アクティベート」をクリックします



5. ロック解除パターンを設定します。マウスでクリック&ドラッグして4点以上の点を繋いで線を作ってください。
2回繰り返して完了です。

(例)



2. セットアップウィザード

解除パターンの設定をするとセットアップのウィザード画面になります。

1. 時間の設定画面で、タイムゾーン、日付の表示形式、システム時間を設定します。
設定を終えたら、「次」をクリックしてください。



2. ネットワーク設定画面で、「DHCP」 をONに設定します。

固定のIPアドレスを与える場合は、「DHCP」をオフにして、それぞれのIPアドレスを入力してください。
設定を終えたら、「次」をクリックします。

ウィザ...

1 時間 2 ネットワーク設定 3 HDD 4 デバイスアクセス 5 Guarding Vision

DHCP ☒

IPv4アドレス 192.168.11.150

IPv4 Subnetマスク 255.255.255.0

IPv4デフォルトゲートウェイ 192.168.11.1

DNSサーバーの自動取得 ☒

優先DNSサーバ 192.168.11.1

代替DNSサーバ

次

3. HDDの設定画面になります。内蔵されている場合は、「状態」「容量」など正しいことを確認してください。
HDDを取り付けた場合は、フォーマットを実施してください。
確認を終えたら、「次」をクリックします。

ウィザ...

1 時間 2 ネットワーク設定 3 HDD 4 デバイスアクセス 5 Guarding Vision

フォーマット

HDD番号	状態	空き容量 (GB)	容量 (GB)	タイプ	操作
1	☒ 正常	3683	3726	ローカル	

次

4. デバイスアクセス画面です。非アクティブのIPカメラをPoEポートに接続していれば、自動的にアクティベートされます。この時、IPカメラのパスワードは、レコーダーのパスワードでアクティベートされます。ここで、接続できていなくともウィザード終了後にデバイスの追加設定は可能です。

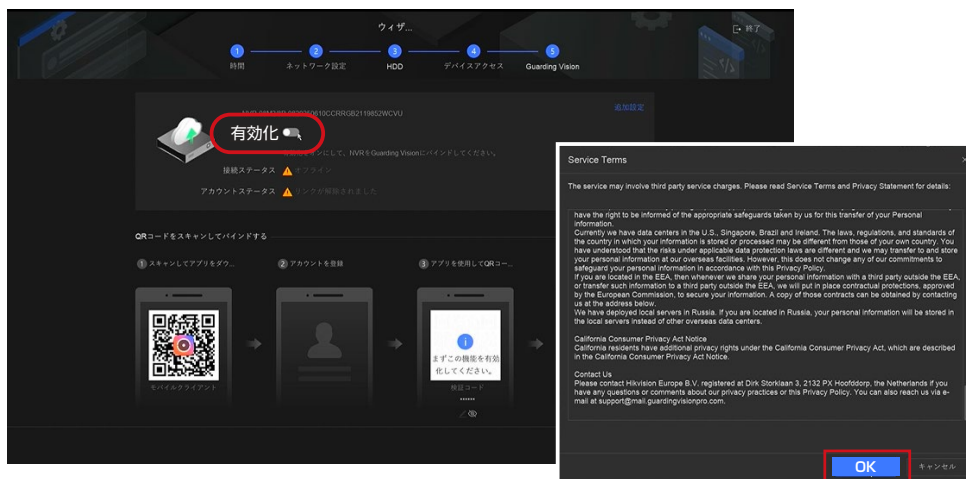


5. 最後に遠隔監視用の Guarding Vision の設定画面になります。

Guarding Vision を使用する場合は「有効化」スイッチをオンにし、使用しない場合は「終了」をクリックしてください。

「有効化」をオンにするとサービス利用規約および個人情報保護方針がポップアップ表示されますので、内容をご確認いただき、「OK」をクリックします。

なお、Guarding Vision の使用に伴うサービス料金は発生しません。

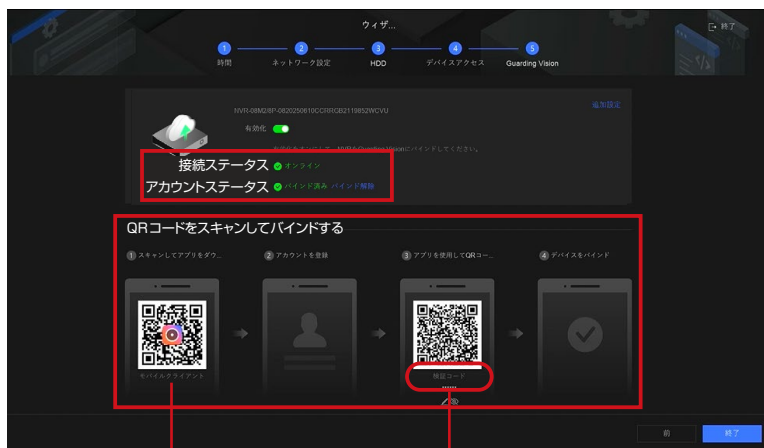


6. Guarding Vision を「有効化」した後、スマートフォンでアプリをダウンロードしてレコーダーを登録（デバイスをバインド）してください。

登録前に、レコーダーの「接続ステータス」がオンラインになっていることをご確認ください。

登録完了後、画面上の「アカウントステータス」が「バインド済み」と表示されます。

登録を終えたら、「終了」をクリックします。



パスワードC:

スマホ版 Guarding Vision アカウントのパスワード

検証コード:

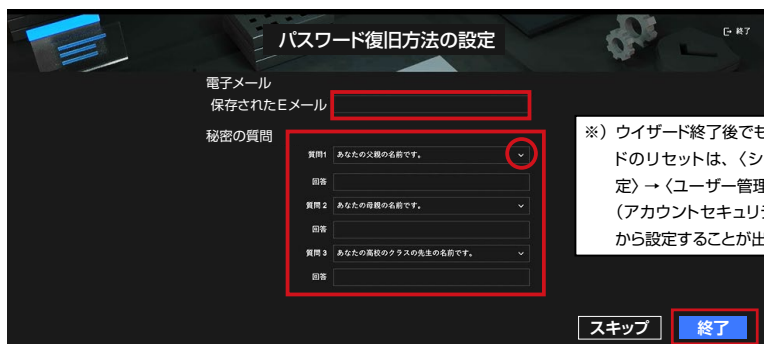
Guarding Vision で「ストリームキー」入力の際に必要な

7. パスワード復旧方法を登録します。電子メールおよび秘密の質問によるリセットが可能です。

「保存されたEメール」欄にメールアドレスを入力します。

「秘密の質問」から3問選択し、それぞれの回答を入力します（各質問の▼ボタンをクリックして選択）

登録を終えたら、「終了」をクリックします



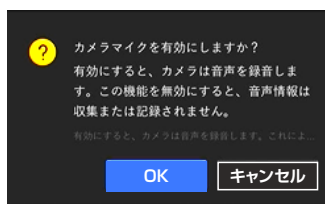
メールアドレス:

パスワードリセットの為に設定したEメールアドレス

以上で初期設定は終わりです。以下の画面がポップアップしますので、「開始」をクリックします。



メイン画面表示前にカメラマイクを有効にし、録音するか確認の画面がポップアップします。録音する場合は「OK」を音声録音しない場合は、「キャンセル」してください。



メイン画面が開きますので、その他各種設定は、こちらから設定してください。



3. カメラの接続方法

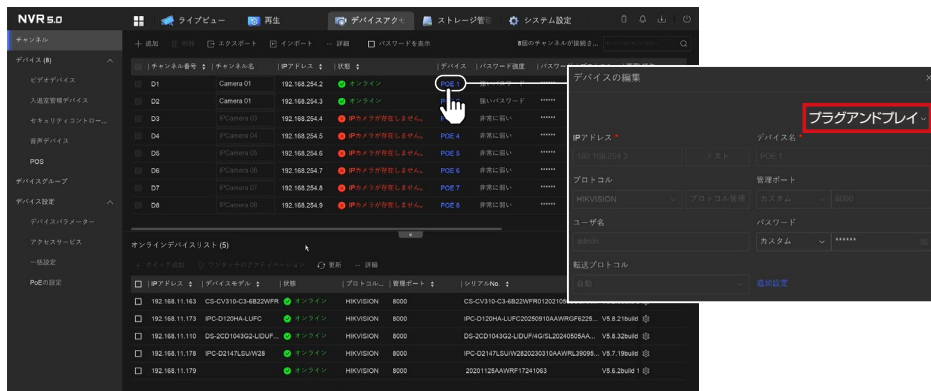
IPカメラをNVRへ接続する方法は(1)直接NVRへ接続する方法と、(2)ルーターやハブを経由して接続する方法と2種類あります。(ここの説明は弊社カメラを使用した場合の内容になります)

■ 直接NVRのPoEポートに接続する場合

1. 非アクティブのIPカメラをLANケーブルでNVRのPoEポートに接続します。

[システム]→[デバイスアクセス]→[チャンネル] に移動します。

接続した「チャンネル番号」の「状態」が、 オンライン と表示されれば、接続が完了です。



- ➡ 追加方法の初期設定が「プラグアンドプレイ」に設定されているため、自動的にカメラが認識され、映像が表示されます。(映像の反映まで数分要する場合があります。)

IPカメラが存在しません → IPカメラを検出しています → 接続中 → オンライン になります)

* 弊社カメラおよびHIKVISION製カメラのみ、プラグアンドプレイでの接続に対応しています。

弊社製およびHIKVISION製以外のカメラをお使いの場合

1. 表示したいチャンネルの「デバイス」欄の PoE ポート名(例: POE_1)をクリックして、[デバイスの編集] 画面を開き、以下の項目を変更します。
 - ・追加方法: 「プラグアンドプレイ」 → 「手動」に変更
 - ・プロトコル: お使いのカメラメーカーが推奨するプロトコルに変更 (メーカー名が表示される場合が、基本的には「ONVIF」を選択してください。)
2. カメラのアクティベーションパスワードを入力します。

NVRのアクティベーションパスワードの場合は、「デフォルトアクティベーションパスワード」を選択します。
3. 「OK」 ボタンをクリックします。



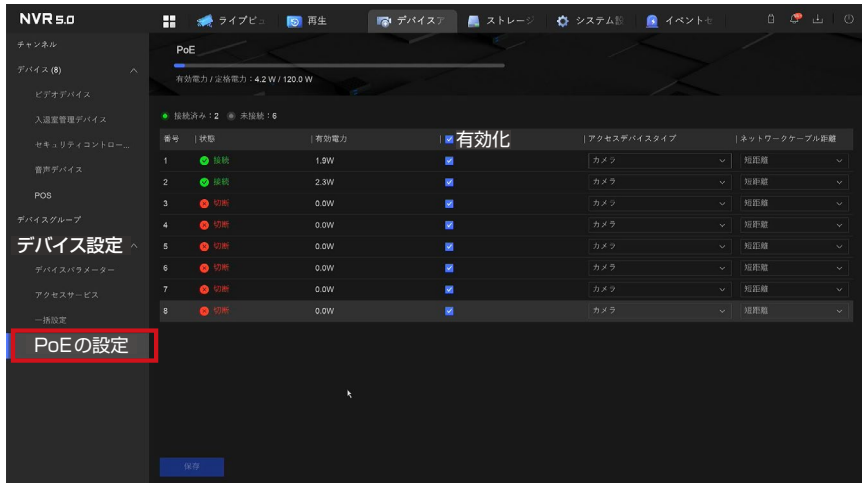
■ ルーター、ハブを経由して接続する場合

カメラチャンネルのPoEポートの設定を切り替える必要があります。

※ルーター経由でも接続できるカメラ数は4ch入力モデルで4台、8ch入力モデルで8台です。増やすことはできません。

※32chのレコーダーは、PoEポート16ch+ハブ経由16chで32chの為、16台まではバインディング設定切替の必要はありません。

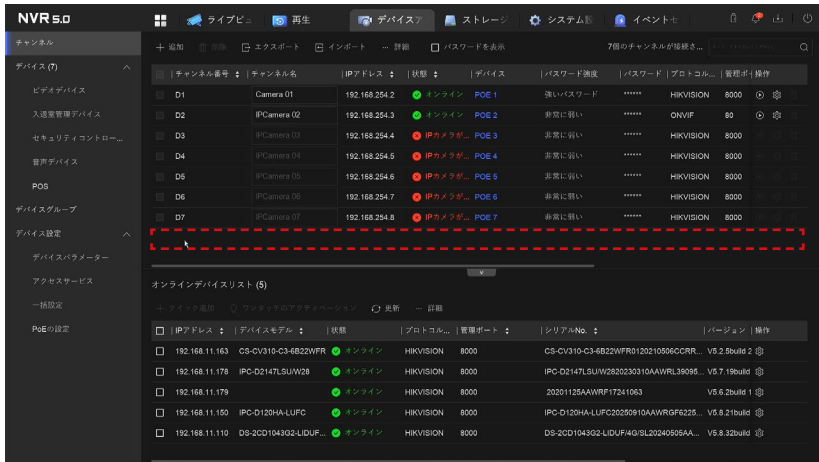
1. [システム]→[デバイスアクセス]→[デバイス設定] → [PoEの設定] に移動します。



2. ルーター経由で接続したい台数分、チェックボックスのチェックを外して「保存」をクリックします。



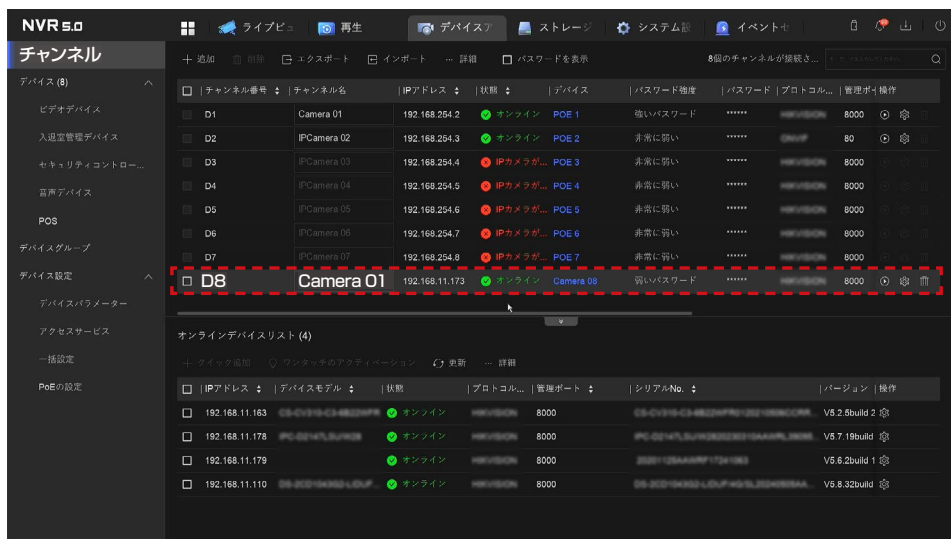
3. [システム]→[デバイスアクセス]→[チャンネル] に移動します。有効化のチェックを外したチャンネルが、表示なくなっています。(ここでは、チャンネル番号D8になります)



4. 「+追加」をクリックします。
5. オンラインデバイスリストから追加したいカメラを選択します。(1台ずつ行います)
6. カメラのアクティベーションパスワードを確認します。
- ・レコーダーに登録したパスワードと同じ場合：「デフォルトアクティベーションパスワード」を選択します。
 - ・異なる場合：「カスタム」を選択してパスワードを入力します。
7. 「追加」をクリックします。複数台ある場合は、「続けて追加」をクリックし、再度、オンラインデバイスリストからカメラを選択してください



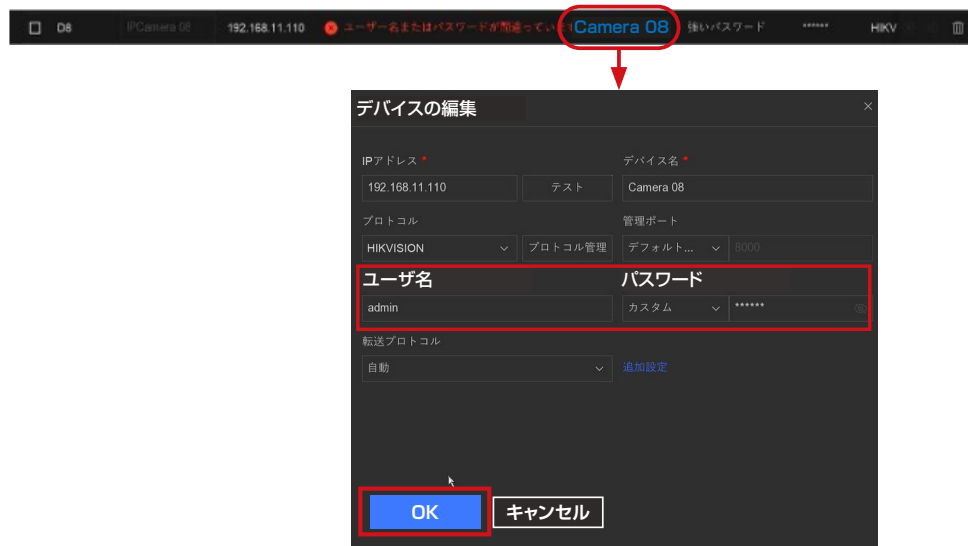
8. 追加したカメラチャンネル番号を確認し(ここではD8)、状態が  オンラインになっていれば接続は完了です。
(反映までに時間がかかる場合があります。) 複数台の場合は、順次行ってください。



チャンネル番号	チャンネル名	IPアドレス	状態	デバイス	パスワード強度	パスワード	プロトコル	管理ポート	バージョン	操作
D1	Camera 01	192.168.254.2	オンライン	POE 1	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.2.8build 2	
D2	IPCamera 02	192.168.254.3	オンライン	POE 2	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.7.19build 1	
D3	IPCamera 03	192.168.254.4	オンライン	POE 3	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.6.2build 1	
D4	IPCamera 04	192.168.254.5	オンライン	POE 4	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.8.32build	
D5	IPCamera 05	192.168.254.6	オンライン	POE 5	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.8.32build	
D6	IPCamera 06	192.168.254.7	オンライン	POE 6	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.8.32build	
D7	IPCamera 07	192.168.254.8	オンライン	POE 7	非常に弱い	*****	HIKVISION	8000	V5.8.32build	
D8	Camera 01	192.168.11.173	オンライン	Camera 08	弱いパスワード	*****	HIKVISION	8000	V5.8.32build	

IPアドレス	デバイスモデル	状態	プロトコル	管理ポート	シリアルNo.	バージョン	操作
192.168.11.163	DS-7C19H-C2-4822P-FP	オンライン	HIKVISION	8000	DS-7C19H-C2-4822P-FP192.168.11.163	V5.2.8build 2	
192.168.11.178	IPC-D214FL31-0100	オンライン	HIKVISION	8000	IPC-D214FL31-0100192.168.11.178	V5.7.19build 1	
192.168.11.179	IPC-D214FL31-0100	オンライン	HIKVISION	8000	IPC-D214FL31-0100192.168.11.179	V5.6.2build 1	
192.168.11.110	DS-7C22F19K32-L20P-F	オンライン	HIKVISION	8000	DS-7C22F19K32-L20P-F192.168.11.110	V5.8.32build	

8. 状態が、「 ユーザー名またはパスワードが間違っています」のメッセージが出ている場合は、
デバイスの表示(ここでは **Camera 08**)をクリックし、再度、ユーザー名、パスワードを確認し再入力してください。



08 IPCamera 08 192.168.11.110  ユーザー名またはパスワードが間違っています **Camera 08** 強いパスワード ***** HIKV

デバイスの編集

IPアドレス: 192.168.11.110 テスト デバイス名: Camera 08

プロトコル: HIKVISION プロトコル管理 管理ポート: デフォルト... 8000

ユーザー名 **パスワード**

admin カスタム *****

転送プロトコル: 自動 追加設定

OK キャンセル

4. メイン機能画面の説明

セットアップウィザードが終了するとメイン機能表示の画面が開きます。



インターフェース名	説 明
タスクバー	開いているアプリケーションはタスクバーに示されます。 各アプリケーションのタブを移動（マウスでドラッグ）したり、閉じたりできます。  メインメニュー  USB フラッシュドライブの管理（USB メモリ挿入時）  イベントセンター…イベントアラームの検索、閲覧が可能。  ダウンロードタスク…ダウンロードの進捗状況はここで確認できます。  電源…本体をシャットダウン、ログアウト、または再起動します。   クリックするとタブを閉じます
アプリケーションリスト	すべてのアプリケーションがここに表示されます。 クリックすると設定画面が表示されます。
ナビゲーションバー	クリックして、システムの各機能を設定してください。

5. ライブビューと再生画面

ライブビュー

ライブビュー画面は、各カメラのビデオ画像をリアルタイムで表示し、ライブ音声の再生、写真のキャプチャ、インスタント再生などを行うことができます。



エリア番号	説 明	
① チャンネルリスト	リストからチャンネルを選択すると、該当する画面が選択されます。チャンネルツールバーで、PTZが選択されるとPTZコントロールバーが開きます。	
② ショートカットメニュー	画像領域上で右クリックするとショートカットメニューが表示されます。	
③ チャンネルツールバー	キャプチャ 画像をキャプチャします	音声有効 (オフ) 音声出力をオン/オフします。
	簡易再生 簡易再生します (約5分)	タグ タグを追加します
	デジタルズーム マウスホイールで拡大できます	ライブビュー方針 表示画面の滑らかさを設定します
	PTZコントロール パンチルトズーム操作をします。	VCA 情報を表示 映像解析情報を表示します。
	ストリーム情報 エンコード、ビットレートなど表示します	3D ポジショニングの有効化 表示画面をドラッグしてPTZ操作します
	サブ (メイン) に切り替える 表示のストリームを切り替えます	
④ ライブビューツールバー	音声ブロードキャスト IP スピーカーに音声を流します	出力切替 出力のモニターを切替えます
	VCA 情報を表示 映像解析情報を表示します。	分割 ライブビュー画面を分割します
	音量 音声レベルを調整します	フルスクリーン モニターにフルスクリーン表示します

*) 接続されているカメラにより表示するアイコンが異なります。

再生

再生画面では、記録したビデオファイルおよび音声ファイルを再生することができます。



エリア番号	説 明
① 再生タイプ	再生する方法を選択します。
② チャンネルリスト	記録しているチャンネルを選択します。
③ カレンダー	記録日時を選択します。 録画されている日には右上に青い三角マークがつかます
④ チャンネルツールバー	ライブビューのページを参照ください
⑤ タイムライン	- タイムライン上のカーソルをドラッグして特定の時間に移動します。 - 青いバーでマークされた期間は録画されている時間です。 - 赤いバーはその期間のビデオがイベントビデオであることを示します。 - タイムライン上でスクロールすることでタイムラインの表示時間単位を拡大／縮小できます。
⑥ 再生ツールバー	オンにすると人物／車両を含むビデオをタイムラインに赤く表示します スマート検索 基本操作 30秒 早戻し 30秒 早送り 逆再生 タイムスタンプ 一時停止 (再生) 再生速度は、再生ストラテジーで クリップ 開始終了を指定しビデオをクリップします オーディオ 音声レベルを調整します テキストオーバーレイ POSデバイス接続時、有効無効 フルスクリーン モニターにフルスクリーン表示します 音量 音声レベルを調整します 再生ストラテジー 再生方法・速度を設定します

6. 録画スケジュール、録画開始終了のタイミング設定

録画スケジュール

録画スケジュールは、メイン画面の「システム → ストレージ管理」の「ストレージスケジュール → ビデオ録画」で設定します。

The screenshot shows the NVR 5.0 interface. The top navigation bar includes 'ライブビュー' (Live View), '再生' (Playback), 'デバイスアクセス' (Device Access), and 'ストレージ管理' (Storage Management). The 'ストレージ管理' menu is expanded, showing 'ビデオ録画' (Video Recording) under 'ストレージスケジュール' (Storage Schedule). The 'ビデオ録画' window is open, showing a list of channels with their recording status. The '録画スケジュール' (Recording Schedule) dropdown menu is open, showing options like 'All-Day Continuous', 'All-Day Event', and 'Template 1' through 'Template 8'. The '詳細設定' (Detailed Settings) button is also visible. Below the main interface, two smaller windows are shown: 'スケジュール詳細' (Schedule Details) and '詳細設定' (Detailed Settings). The 'スケジュール詳細' window shows a calendar view with a grid for days of the week and hours of the day. The '詳細設定' window shows settings for 'オーディオを録音' (Record Audio), '最大事前録画時間' (Maximum Pre-Recording Time), 'ビデオの事後録音' (Video Post-Recording), 'ストリームタイプ' (Stream Type), and 'ビデオ/画像の有効期限' (Video/Image Validity Period).

システム
ストレージ管理

ストレージスケジュール
ビデオ録画

有効化

録画スケジュール
カスタム

詳細設定

スケジュール詳細

詳細設定

オーディオを録音

最大事前録画時間

ビデオの事後録音

ストリームタイプ

メインストリーム

ビデオ/画像の有効期限

期限切れなし

OK

各チャンネルで有効化スイッチがオンになっていることを確認します。

次に録画スケジュールを選択します。連続記録の場合は、「All-Day Continuous」を設定します。

「カスタム」を選択すれば、設定ウィンドウが開きますので、録画方法を選択してタイムバーをドラッグし、スケジュールを設定します。設定を終えたら「OK」をクリックします。

「詳細設定」の ⓘ をクリックすれば、音声録音の設定および事前記録、事後記録の時間等の設定が可能です。

※) スケジュールの Template は、「システム設定 → テンプレートの設定 → ストレージスケジュール」で設定します。

5. よくある質問

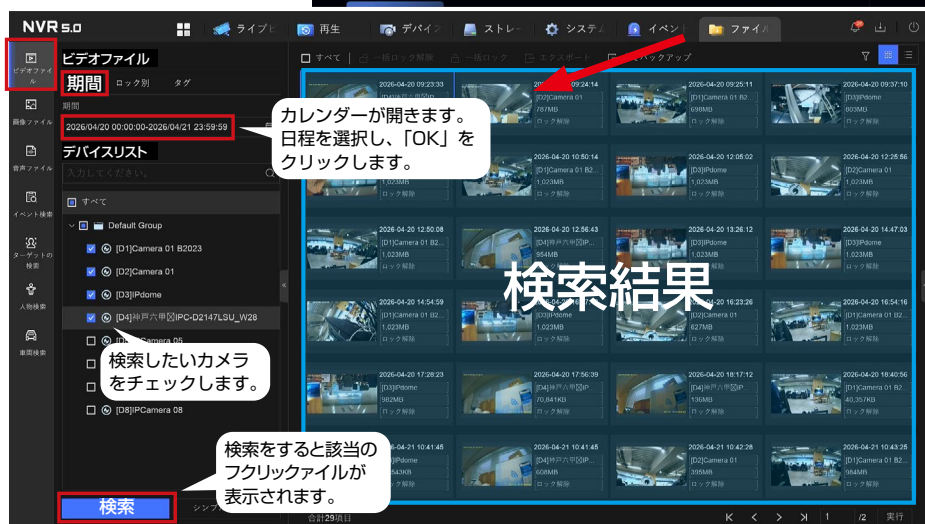
1. 映像のバックアップの方法



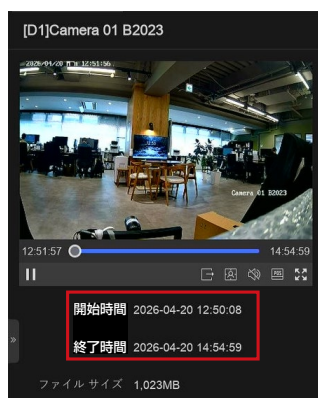
映像のバックアップは、メイン画面のビデオアプリケーション「ファイル管理」をクリックします。

ここでは、特定の日時のファイルをバックアップします。USBメモリをUSBポートに挿入してください。

1. ビデオファイル画面が開きます。「期間」タブで「期間」を選択し、デバイスリストからバックアップしたい映像のカメラを選択します。
2. 「検索」をクリックすると該当のファイルが表示されます。



3. バックアップしたいファイルを選択すると、簡易再生画面が開きます。開始・終了期間を確認します。
4. クリップにカーソルを置くと現れる、エクスポートアイコン  をクリックします。
5. エクスポート画面が開きますので、出力のビデオ形式、保存先のフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
※ビデオ形式でデフォルトを選択した場合、映像の再生にはVSプレーヤーが必要になります。
「VSプレーヤーのエクスポート」のスイッチをオンにすれば、同時にアプリをダウンロードしますので、解凍してご使用ください。
6. 画面右上の  ダウンロードタスクをクリックするとダウンロードの状況が確認できます。
7. USBメモリにダウンロードされたファイルをPCでご確認ください。



簡易再生画面



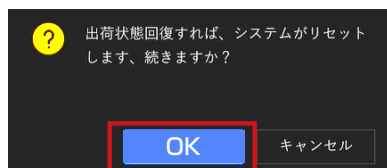
エクスポート画面

2. レコーダー初期化の方法



レコーダーの初期化は、 メイン画面の「システム → システムメンテナンス」をクリックし「メンテナンス → バックアップと復元」で設定します。

1. リセットの項目から「出荷時のデフォルト」の  をクリックします。
2. 右の確認画面が出ますので「OK」をクリックします。
3. 権限の確認画面が出ますので、パスワードを入力し、「OK」をクリックし初期化を実行します。



リセットの方法

シンプルリストア……………	ネットワーク情報とパスワード以外の情報をリセットします。
出荷時のデフォルト……………	ネットワーク情報とパスワードを含んだすべての情報をリセットします。
非アクティブに復元……………	レコーダーを非アクティブの状態に復元します。

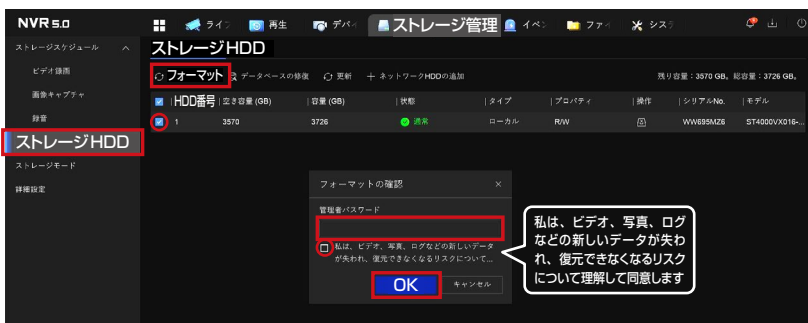
※ 接続されたカメラは非アクティブにはなりません。

3.ハードディスク初期化の方法



ハードディスク初期化は、 メイン画面の「システム → ストレージ管理」をクリックし「ストレージ管理 → ストレージHDD」で設定します。

1. 「ストレージHDD」で、HDD 番号左のチェックボックスをチェックします。
2. フォーマットをクリックします。
3. フォーマットの確認画面がポップアップしますので、管理者パスワードを入力し、チェックボックスをチェック、「OK」をクリックします。HDDの初期化(フォーマット)が実施されます。



4.モニター出力（HDMI/VGA）解像度の変更



画面比率の変更方法は、 メイン画面の「システム → システム設定」をクリックし「システム設定 → メニュー出力 タブ」で設定します。

1. 「VGA解像度」「HDMI解像度」で、変更したい解像度を選択してください。

※）HDMI/VGA同時出力の機種は、共通の設定になります



5. ライブビュー画面の設定



ライブビュー画面の設定は、 メイン画面の「ライブビュー」をクリックし「表示 → 表示設定」で設定します。 をクリックし設定画面に入ります。

①～⑤の手順に従って、設定してください。

① モニター出力を選択します。

② デフォルトの画面を選択。カスタム画面の場合は、「+」をクリックし、画面の名称を入力します。

③ 「分割」をクリックし、表示する画面の種類を選択します。

④ 画面を選択し チャンネルから表示するカメラを選択すると、映像が表示されます。

⑤ 他の画面も同様に選択します。

ここに[D1]が表示します

表示

デフォルトビュー
カスタムビュー

6. レコーダーの日時設定の方法



レコーダーの日時設定は、 メイン画面の「システム → システム設定」をクリックし「システム設定 → 地域と時間」タブで設定します。

1. 「地域と時間」タブにあるシステム時間 右にあるカレンダーアイコン をクリックします。
2. カレンダーが開きますので、設定する“年月日”を選択します。
3. 時間の表示窓をクリックすると“時：分：秒”の設定画面が開きます。
4. 設定を終えたら「OK」をクリックします。

システム設定

地域と時間

基本情報

地域 日本 Japan

システム言語 日本語

タイムゾーン (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

日付の表示形式 YYYY-MM-DD

時刻同期モード ☒ NTP時刻同期 ☐ 手動時刻同期 ☐ Guarding Visionサーバー時刻同期

システム時間 2026/04/14 13:25:18

DST 有効化 ☐

開始時間 1時 第1期 第2期 第3期

終了時間 1時 第1期 第2期 第3期

補正時間 30 min

2026 4月

日 月 火 水 木 金 土

29 30 31 1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 1 2

3 4 5 6 7 8 9

今日 14:00:11

08 00 11

09 01 12

10 02 13

11 03 14

12 04 15

13 05 16

14 06 17

今日 14:00:11 OK

7. 画面に映らない時の対処方法

下記の項目をご確認ください。

1. 電源は入っていますか？

- バックパネルの電源スイッチが ONになっているか確認してください。
- フロントパネルLED表示の左側の電源アイコンを確認してください。
 - ・点灯している……電源は入っています。2番に進んでください。
 - ・点灯していない…電源が入っていないので配線等をご確認ください。

2. HDMI、VGA 端子とモニターのチャンネルは合っていますか？

- モニターの入力端子と出力の端子番号が一致しているかご確認ください。

3. 一般のテレビに接続していませんか？

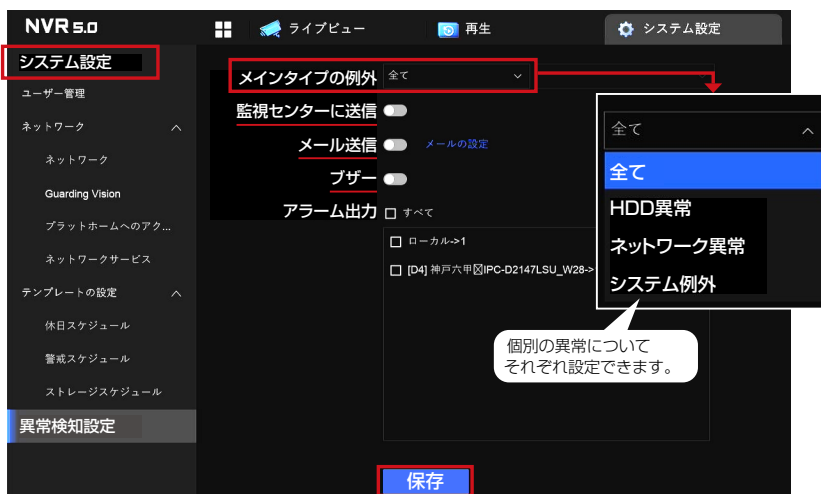
- HDMI ケーブルで接続した場合、映像が映らないことがございますので、PC 用モニター・ディスプレイへの接続を推奨しています。

8. 異常検知した際のアラートを消したい



異常検知のアラート設定は、 メイン画面の「システム → システム設定」をクリックし「システム設定 → 異常検知設定」で設定します。

1. 「メインタイプの例外」にある ▾をクリックし、異常を選択します。
「全て」以外を選択すると特定の異常の項目毎に設定できます。
2. 「監視センターに送信」「メール送信」「ブザー」のスイッチをオフ  に設定します。
*)「監視センターに送信」は、Guarding Vision アプリに通知が届きます。
3. 設定を終えたら、「保存」をクリックします。



9. 動体検知の設定方法



動体検知の設定は、 メイン画面の「システム → イベント設定」をクリックし「イベントセンター → イベント設定 → 一般イベント タブ」で設定します。

1. 「一般イベント」タブにある「チャンネル」でカメラを選択します。
2. 「サブイベント」で「動体」を選択します。
3. 有効化のスイッチをオンにします。
4. 「ルール設定」をクリックします。

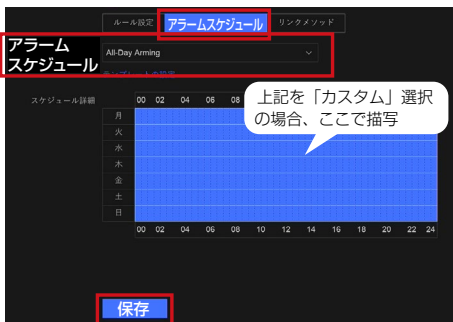


検出領域の描画
エリアを選択した後、プレビュー画面の上でクリックして、領域を描きます。「保存」をクリックしてください。
*必ず、3点以上クリックしてから右クリックして終了してください。
*領域の描画方法は接続しているカメラの機種により異なります。

検知対象を人または車両に特定したい場合は、☐ にチェックを入れます。

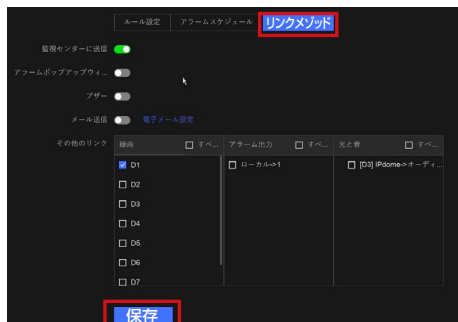
スクロールバー

5. 「アラームスケジュール」をクリックして、アラームスケジュールのタイプを選択します
テンプレートを設定する場合は、「テンプレートの設定」をクリックし設定します。
「カスタム」に設定した場合は、タイムバーにドラッグするかクリックしてスケジュールを設定します。
6. 「リンクメソッド」をクリックし、リンク方法を設定します。
7. 設定を終えたら、「保存」をクリックします。



上記を「カスタム」選択の場合、ここで描写

保存



保存

※ 動体検知時のみ録画したい場合は、録画スケジュールで「動体検知」を設定してください。

※ スケジュール録画のままでも、再生画面の「スマート」をクリックすることでイベント発生時の時間帯にバーの色がつくので簡単に動体検知を確認することが出来ます。

10. イベント検知時にeメール通知の設定方法

1. eメール送信先の設定

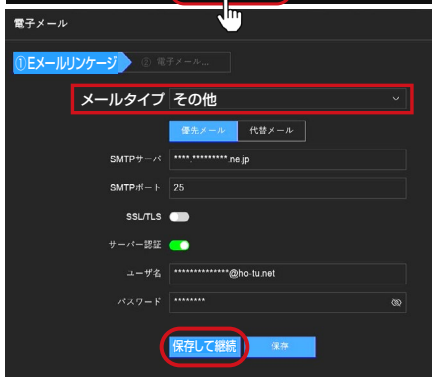


eメール通知の設定は、 メイン画面の「システム → イベント設定」をクリックし「イベントセンター → イベント設定 → 一般イベント タブ他にあるリンクメソッド」で設定します。

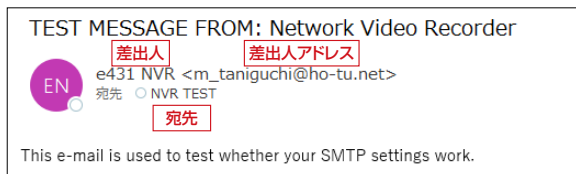
1. 「リンクメソッド」にあるメール送信横の「電子メール設定」をクリックします。
2. メールタイプ「その他」を選択します。
3. 各項目の設定をします

①SMTPサーバ	メールサーバーのアドレス名
②SMTPポート	デフォルトで 25
③SSL/TLS	サーバー要件に応じてチェック
④サーバ認証	チェックし、⑤⑥を入力
⑤ユーザー名	登録するメールアドレス
⑥パスワード	メールアドレスのパスワード
⑦差出人	この名前で通知が届きます
⑧差出人アドレス	このアドレスから通知が届きます
⑨宛名の選択	宛先1～3まで3カ所設定できます。
⑩宛先	この名前で通知が届きます
⑪宛先アドレス	このアドレスに送付します。
⑫画像を添付済み	メールに画像が添付されます。
⑬間隔	添付画像のキャプチャー時間間隔

4. 各項目の設定を終えたら、「保存」、続けて「テスト」をクリックし、メールが送信されたことを確認してください。正しく送信された場合、下のようなメッセージが出ます。



5. 設定したアドレスに下のようなメッセージが受信されていることを確認してください。



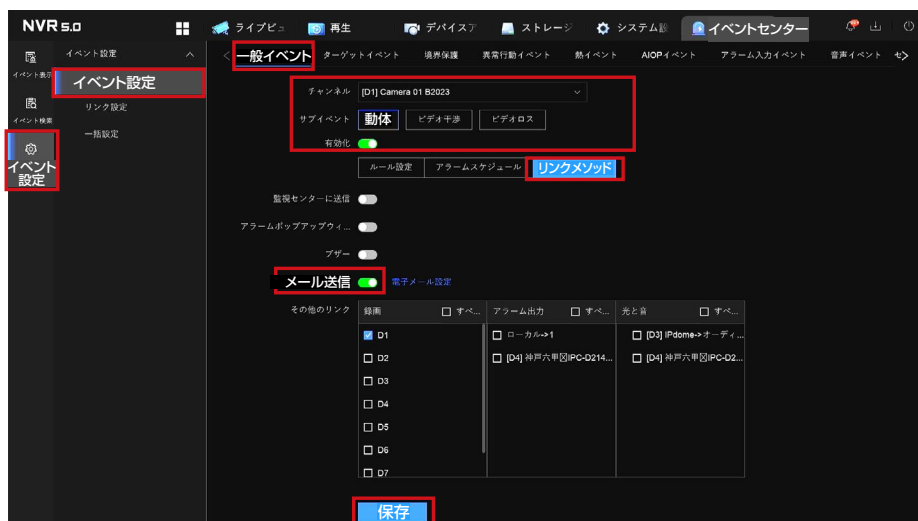
2. イベント通知の設定

* 動体検知自体の設定は「よくある質問 (2)」の動体検知の設定方法を参照してください。



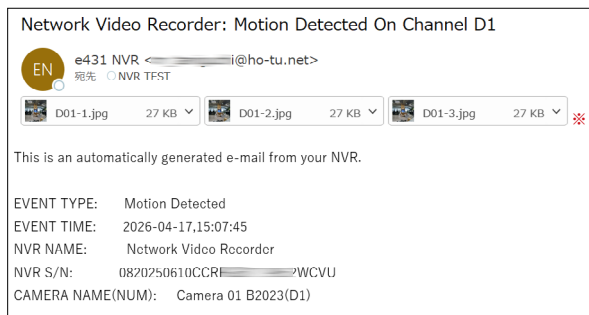
イベント通知の設定は、 メイン画面の「システム → イベント設定」をクリックし「イベントセンター → イベント設定 → 一般イベント タブ」で設定します。

1. 「チャンネル」で、カメラを選択し、動体検知が有効になっていることを確認します。
2. 「リンクメソッド」をクリックします。
3. 「メール送信」のスイッチを オン  にします。
4. 設定が完了したら、「保存」をクリックします。



3. 受信メール

設定されたイベント発生毎に、指定の宛先に以下のようなメールが送付されます。



※添付画像は、設定されたイベントによっては 1 枚のみの画像の場合があります。

メール送信が不要になった場合は、「メール送信」のスイッチをオフ  にしてください。

11. eメールを使用したパスワードリセット

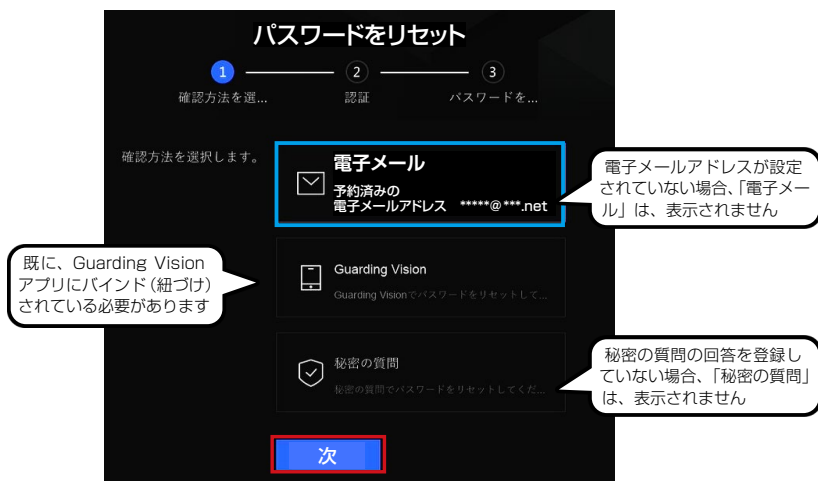
レコーダーのパスワードを電子メールでリセットするためには、事前にメールアドレスが登録されている必要があります。リセット方法には、「電子メール」「Guarding Vision」「秘密の質問」の3通りがありますが、初期設定の段階で「メールアドレス」か「秘密の質問」のいずれかは必ず登録される仕組みです。ここでは、その中から事前に登録したメールアドレスを使用してパスワードを再設定する手順について説明します。
(Guarding Vision アプリが必要になりますので、スマートフォンを準備ください)

eメール（電子メール）を使用したパスワードリセット

1. ロック解除パターン右下の「パスワードログイン」をクリックし、パスワードログイン画面で「パスワードを忘れましたか？」をクリックします。



2. パスワードリセット画面が開きます。 電子メールを選択し、「次」をクリックします。



3. 電子メールによるパスワードリセット方法には、2通りがありますが、
●スマートフォンのGuarding VisionアプリでQRコードをスキャンする方法
 を使用します。

パスワードをリセット → アプリスキャンQRコード

1. 「アプリスキャンQRコード」のタブをクリックします。
2. 左側の「スキャンしてGuarding Vision…」のQRコードをスキャンして、スマートフォンにアプリをインストールします。
3. Guarding Visionアプリを起動し、右上の「+」をクリックし、QRコード/バーコードを選択し、右側の「デバイスのQRコード」をスキャンします。
4. スマートフォン画面にリセットのリクエストメッセージがでますので、「OK」をクリックします。
5. レコーダーに登録された電子メールアドレスに確認コードが送信されます。
6. 確認コードを「認証コードを入力してください」のボックスに入力します。
7. 「次」をクリックすると パスワード設定画面が開きますので再設定します。
8. 新しいパスワードと確認のパスワードを入力し、「終了」をクリックして完了です。

パスワードをリセット

確認方法を選... 2 認証 パスワードを...

① クリック **アプリスキャンQRコード**

アプリスキャン QR

スキャンしてGuarding Vision... デバイスのQRコード。

② スキャンしてアプリをインストール

③ Guarding Visionアプリで、デバイスQRコードをスキャン

デバイス

QRコード/バーコード

手動でデバイスを追加
オンラインデバイス
デバイスを共有する
グループの追加

サーバに、デバイスパスワードをリセットするようリクエストが送信されます。また、あなたの登録メールアドレスに、認証セキュリティコードが送信されます。セキュリティコードが受信できない場合、お近くのアフターサービス担当者までご連絡ください。

OK

④ クリック

1. Guarding Visionアプリをダウンロードして、デバイスのQRコードをスキャンしてください。

2. QRコードがスキャンされると、5分以内に、保存された電子メールアドレスm****@ho-tu.netに確認コードが送信されます。

3. 認証コードを下のボックスに入力してください。

XXXXXXXX

⑥ 認証コードを入力します

前 次

⑦ 「次」をクリック、以下で再設定入力します。

Dear customer,
We have received a password reset request from you. You are authorized to use the following verification code to reset your password. Meanwhile, you agree to take full responsibility for this action.

The verification code for the device with serial number
***** is XXXXXXXX (valid for 48 hours).

Do not forward or give this code to anyone. Please note that the verification code will become invalid if the device is rebooted, 48 hours elapse.

⑤ このメールを受信しますので、認証コード XXXXXXXX を入力します

パスワードをリセット

確認方法を選... 2 認証 3 パスワードを...

新しいパスワードを設定し...

*新しいパスワード

*パスワードを確認

前 終了

⑧ 新しいパスワードを設定し、「終了」をクリックすれば、完了です。

12. マイク音が記録されない

マイク音が記録されない場合、以下、2点の設定を確認願います。

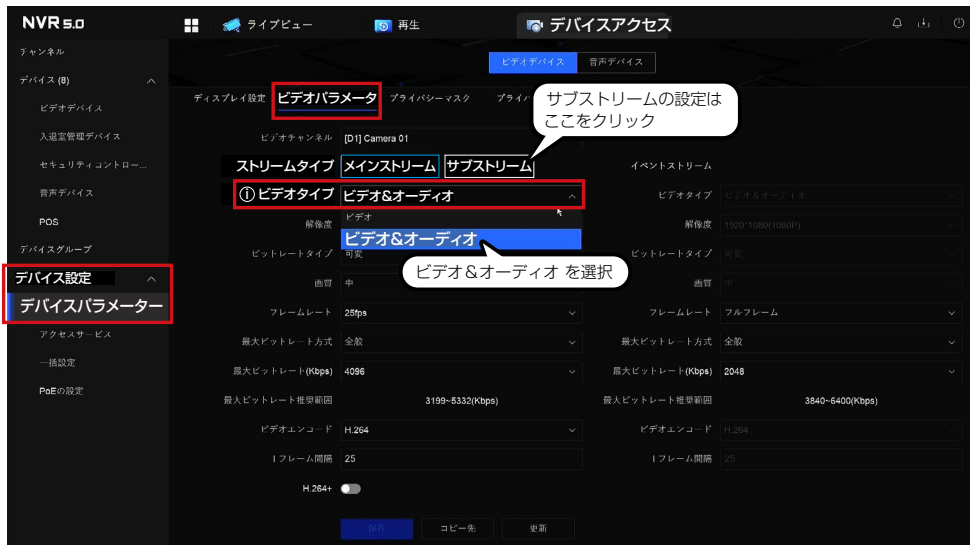
1. 接続しているカメラのビデオパラメータが、「ビデオ&オーディオ」になっているか
2. ストリーズスケジュールのビデオ録画で、
接続しているカメラの「オーディオ録音」のスイッチが ONになっているか

1. ビデオパラメータの確認



ビデオパラメータの確認は、 メイン画面の「システム → デバイスアクセス」をクリックし「デバイス設定 → デバイスパラメーター → ビデオパラメータ タブ」で設定します。

1. 「ビデオパラメータ」タブにある「ビデオチャンネル」でカメラを選択します。
2. 「ストリームタイプ」で「メインストリーム」を選択します。
3. 「ビデオタイプ」で、「ビデオ&オーディオ」 になっていることを確認します。
なっていない場合は、変更して「保存」 をクリックします。
4. サブストリームにも音声を含めるのであれば、「サブストリーム」を選択し、同様に確認します。
(サブストリームは、ライブビューや遠隔監視等に使用されます。)



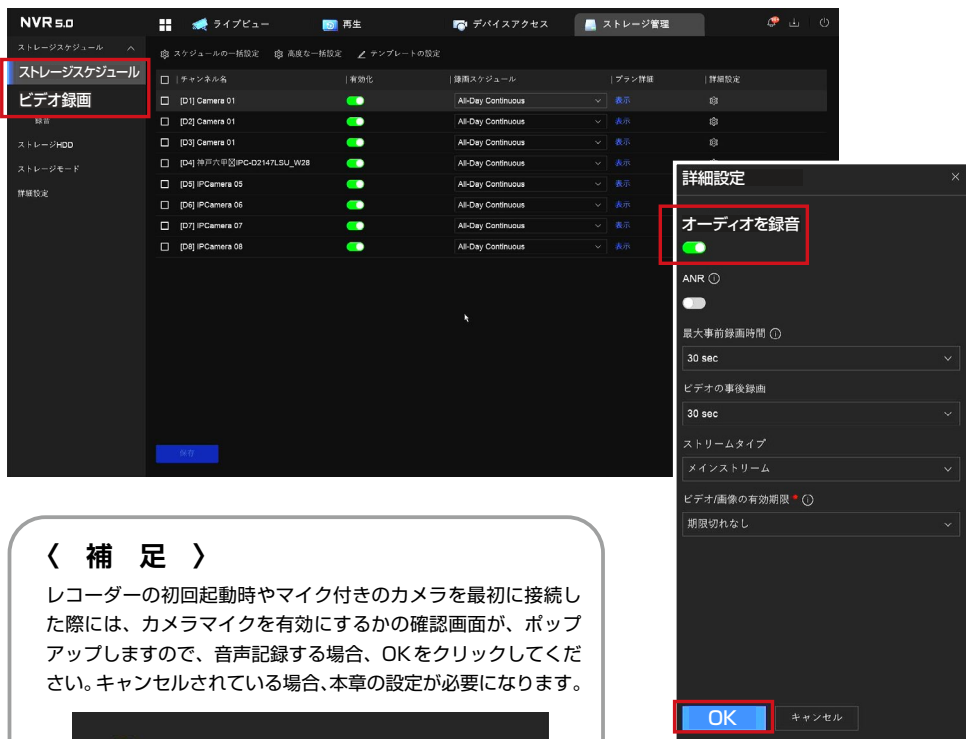
The screenshot displays the NVR 5.0 interface. On the left sidebar, 'デバイス設定' (Device Settings) and 'デバイスパラメーター' (Device Parameters) are highlighted. The main area shows the 'ビデオパラメータ' (Video Parameters) tab for 'Camera 01'. Under 'ストリームタイプ' (Stream Type), 'メインストリーム' (Main Stream) is selected. Under 'ビデオタイプ' (Video Type), 'ビデオ&オーディオ' (Video & Audio) is selected. A callout bubble points to the 'ビデオ&オーディオ' option, stating 'サブストリームの設定はここをクリック' (Click here for substream settings). Another callout bubble points to the 'ビデオ&オーディオ' option, stating 'ビデオ&オーディオを選択' (Select Video & Audio). The bottom of the interface shows 'H.264+' and a '保存' (Save) button.

2. オーディオ録音スイッチの確認



オーディオ録音スイッチは、 メイン画面の「システム → ストレージ管理」をクリックし「ストレージスケジュール → ビデオ録画」の各チャンネルの  詳細設定で確認します。

1. 「ストレージスケジュール → ビデオ録画」に移動します。
2. 音声録音を確認したいチャンネルの「詳細設定」をクリックすると「詳細設定」画面が開きます。
3. 「オーディオを録音」のスイッチが  オンになっていることを確認します。
オンになっていなければ、オンに変更して「OK」をクリックします。
4. 同様に、各チャンネルの設定を確認します。



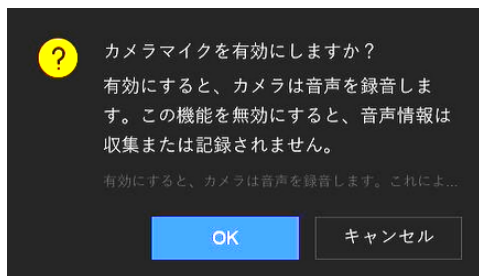
The screenshot shows the NVR 5.0 interface with the 'ストレージスケジュール' (Storage Schedule) menu open. The 'ビデオ録画' (Video Recording) sub-menu is selected. A table lists channels [D1] through [D8] with their respective recording schedules and status. The 'オーディオを録音' (Record Audio) toggle switch is highlighted in red and is in the 'ON' position.

チャンネル名	有効化	録画スケジュール	プラン詳細	詳細設定
[D1] Camera 01		All-Day Continuous	表示	自
[D2] Camera 01		All-Day Continuous	表示	自
[D3] Camera 01		All-Day Continuous	表示	自
[D4] 神戸六甲 (IPC-D2147LSU_V28)		All-Day Continuous	表示	自
[D5] IPCamera 05		All-Day Continuous	表示	自
[D6] IPCamera 06		All-Day Continuous	表示	自
[D7] IPCamera 07		All-Day Continuous	表示	自
[D8] IPCamera 08		All-Day Continuous	表示	自

The '詳細設定' (Detailed Settings) dialog box is open, showing the 'オーディオを録音' (Record Audio) toggle switch in the 'ON' position. Other settings include 'ANR' (off), '最大事前録画時間' (30 sec), 'ビデオの事後録画' (30 sec), 'ストリームタイプ' (Main Stream), and 'ビデオ/画像の有効期限' (No limit).

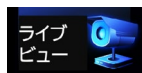
＜ 補 足 ＞

レコーダーの初回起動時やマイク付きのカメラを最初に接続した際には、カメラマイクを有効にするかの確認画面が、ポップアップしますので、音声記録する場合、OKをクリックしてください。キャンセルされている場合、本章の設定が必要になります。



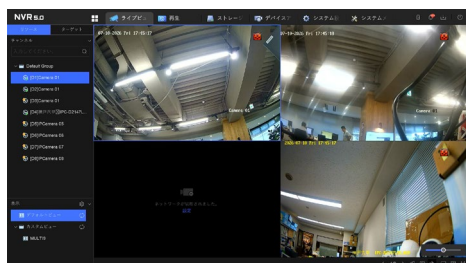
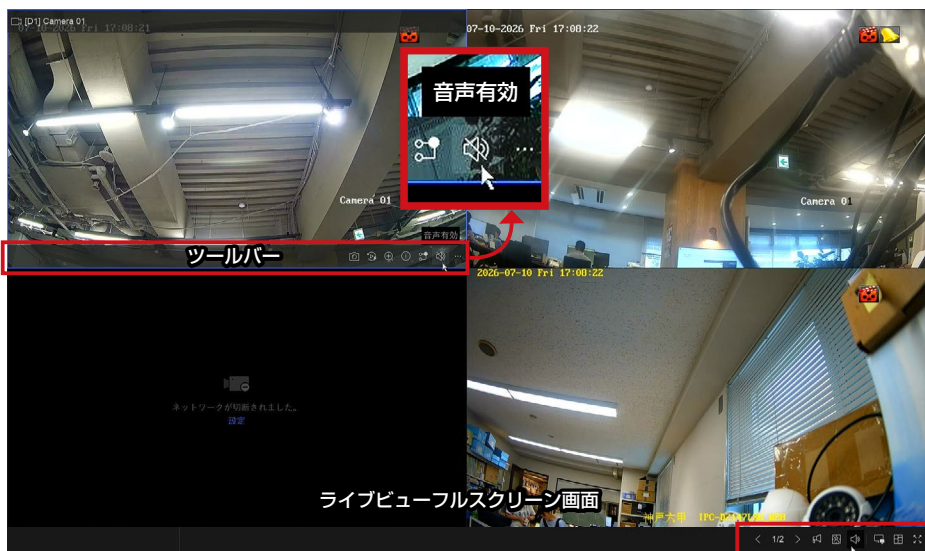
13. ライブビューでマイク音声聞こえない

HDMI接続しているモニターにスピーカーが搭載されているか、音声出力端子からスピーカーに接続されている必要があります。また“12. マイク音が記録されない”にて、メイン・サブの各ストリーミングにオーディオが含まれていることを確認してください。



ライブビュー画面は、 メイン画面の「ライブビュー」をクリックします。

1. 音声を確認したいカメラの画面を選択します。
マウスカーソルを画面に合わせると下部にツールバーが表示されます。
2. 音声マーク  をクリックすると音声の有効になります。
マルチ画面の場合、選択したカメラ画面のみ音声があります。
3. 画面下部にカーソルをもっていくと出てるツールバーの音声マーク  をクリックすれば、音量バーが出ますので、適切に音量を調整します。



フルスクリーンを終了した時には下部に表示されます。

